

原小学校コミュニティ・スクールだより



～やさしく 強く やりぬく子～ 発行日：令和8年7月3日 〈NO.4〉

交通安全子供自転車広島県大会 4連覇!

6月20日(土)、広島市中小企業会館にて「第60回交通安全子供自転車広島県大会」が開かれ、原小学校チームは東広島地区の代表として出場しました。今回はAチームとBチームそれぞれ5名ずつ10名が参加し、結果はAチームが見事優勝で4連覇!! Bチームも優秀賞をいただきました。

原小学校チームは、8月10日(月)に東京ビッグサイトで開催される全国大会に出場します。



この大会は、子ども達が正しい交通知識を身に付け、安全な自転車の乗り方が習慣となることを願って、毎年開催(コロナ禍で2年中止)されているものです。

競技の内容としては、交通規則や道路標識・表示、さらには自転車の安全な乗り方についての知識を問う「学科テスト」、定められたコースを交通法規に従って走行する「安全走行テスト」、定められたコースを走行し、S字走行、遅乗り走行、ジグザグ走行、デコボコ道走行、2枚の板のり走行、終了点での停止などを行う「技能走行テスト」があります。今回の大会では、6年生全員と4年生1名が学科テストの成績が優秀だった人に贈られる「自転車交通ルールマイスター」の認定証もいただきました。

原小学校区では、8年前から地域のボランティアの方々が主体となって自転車教室に取り組んでこられており、その地道な努力の積み重ねが今回の4連覇に繋がったと思います。また、原自治協議会の強力なバックアップにより、練習環境(練習用自転車および技能走行の練習のためのシートやピン等)が整っていることも重要です。ここまで整った環境は、他地域ではなかなか見られないと思われます。

さらに、昨年度お伝えしましたように、今後は「放課後子ども教室・原小学校自転車クラブ」としての活動が可能となりましたので、練習に必要な物品購入の要求が可能になる等のバックアップ体制も整っています。

7月1日(水)には、全校朝会で表彰式を行いました。

4年生が、**原地域センター**を見学しました

6月24日(水)5・6校時、原地域センターと原自治協議会の協力を得て、4年生が総合的な学習の時間の「原の安全・安心について考えよう」の学習をしました。災害発生時には避難所としての役割を持つ原地域センターを実際に見学し、平坂防災士さん、大武さん(原自主防災組織の対策本部長)、北岡防災士さんの話を聞きました。

平坂防災士さんは、主として「ローリングストック」について話されました。「ローリングストック」とは日常生活の中で、食材等を多めに常備して使いながら、使った分を買い足し、災害時などに備える備蓄方法のことをいいます。

大武さんは、H30年の大竹地区の災害について話されました。当時は6軒の家が流され、約300人が復旧作業にあたったこと、幸いにも人的被害はなかったこと、さらには防災倉庫に備蓄してある物品について等、話してくださいました。「災害とは人が住んでいる場所に被害が出たら、それを災害という」という言葉も印象に残りました。

北岡防災士さんはH30年の豪雨の時の原での被害の様子について写真を見せながら話されました。最後に、ロビーにて簡易担架の作り方について学びました。

3名の方の熱心な説明により、児童たちは防災への関心を高めたことと思います。



〈平坂防災士さんの話〉



〈2本の竹の棒に毛布を巻いただけの簡易担架〉

小学校でこんな人を探しています



○5・6年生の家庭科の実技指導の支援をしていただける方はいらっしゃいませんか？

例… 手縫いの方法、ミシンの使い方、調理実習のお手伝い等

※お手伝い可能な方は、小学校(429-0076)平井へ連絡ください。
今後の家庭科の予定・詳細については、その都度お知らせします。

